



**R** 立命館大学医療経営研究センター  
 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業  
RITSUMEIKAN

# 「東アジアとの共生 (看護人材の質向上) 事業」 シンポジウムのお知らせ

2011年3月4日 **金** 13:30開会 (13:00受付開始) 16:00終了予定  
 立命館大学 東京キャンパス

テーマ：「変わる、変える、ベトナム看護教育～東アジアとの共生～」

プログラム

**参加無料** ※事前のお申し込みが必要です

司会：立命館大学 医療経営研究センター 事務局長 三好 秀和

ごあいさつ	立命館大学医療経営研究センター センター長 谷口 吉弘	パネルディスカッション	「変わる、変える、ベトナム看護教育」 コーディネータ：草間 朋子 (大分県立看護科学大学 学長、日本看護協会副会長)
来賓のスピーチ	駐日ベトナム大使館 教育と訓練事務所長 ド・バン・チュン DO VAN TRUNG First Secretary Embassy of the Socialist Republic of Viet Nam in Japan	大津 廣子 (愛知県立大学 看護学部 教授 立命館大学医療経営研究センター 客員研究員)	桜井 礼子 (大分県立看護科学大学 保健管理学研究室 教授)
助成事業報告	立命館大学医療経営研究センター 副センター長 齋藤 清一	光山 誠 (医療法人敬英会 理事長、 立命館大学医療経営研究センター 客員研究員)	平川 博之 (社団法人全国老人保健施設協会 常務理事)
基調講演	「ベトナムでの看護教育の現状と未来」 ファム・ティミン・ドク (タンロン大学 看護学科長)	ファム・ティミン・ドク (タンロン大学 看護学科長)	レー・グエン・キムガン (日本看護師 第一号、兵庫県立大学 大学院生)
問題提起講演	「日本での看護業務を通して」 レー・グエン・キムガン (日本看護師 第一号、兵庫県立大学 大学院生)	閉会のことば	ファム・フィ・ゾン (タンロン大学 副会長)

日本は世界でも例を見ない超高齢化に突入しているが、その医療・介護サービスの需要の高まりに反し看護人材の不足が叫ばれている。国内における看護師不足解消の第一義としては、現在その職に就いていない全国で55万人を超えると言われる潜在看護師の顕在化であることは言うまでもない。一方で、人材交流のグローバル化の波は医療・介護分野とはいえ避けて通ることは出来なくなっている。近年、経済連携協定(EPA)の枠組みによるインドネシア人およびフィリピン人看護師候補生の受け入れは、その一端を表していると言えよう。しかしこの取組は日本と東アジアの共生の促進を期待するものであったが、現実には多くの課題が表面化し必ずしも成功しているとは言えない状態である。日本とベトナム両国間もEPAが締結されており、今後看護人材の交流が予定されている。しかし、両国の看護資格取得のプロセスや、現状での医療ニーズの相違など多くの課題を抱えている。立命館大学医療経営研究センターではその課題解決のための調査事業を重ねてきた。今後、ベトナムの医療・看護の質の向上に日本の看護教育のプログラムを生かすことができるなら、今後さらに多様化することが予想される日本とベトナムとの関係に大きく寄与するであろう。大きな期待を持ってこのテーマに取り組んでいきたい。どのようにベトナムの医療、看護は変わる、変えるべきか。

